

株式会社 ハートコーポレーション

支援テーマ：LGBTQ+理解促進

実施タイプ：3回コース



LGBTQ+理解促進とアライ企業化に向けた 取り組み・ALT派遣業務関連施策の検討

設立	: 1992年7月
本社所在地	: 水戸市
代表者	: 代表取締役 山下 高明
業種	: 外国人人材事業、英語教育事業
HP	: https://heart-school.jp/
従業員数	: 本支店社員 191名 外国語指導助手940名（令和8年3月1日時点）

▶ 国際理解教育で、子どもの豊かな心と未来を育てる
地域と学校教育のつながりを大切にし、グローバルとローカルを融合
した「グローカル育成」にも力を入れながら オンライン教育を融合し
た、深い学びを実現し、子どもたちが夢を抱き、国際社会において主
体性をもって成長できる人材を育成します。



コンサルティングの経過

1. 概要

実施日

- 1回目：2025年10月30日（木）
- 2回目：2025年12月23日（火）
- 3回目：2026年2月4日（水）

課題

◆持続可能な成長を目指す企業として多様なD&I課題に取り組んできたが、LGBTQ+に関しては学習機会が限られていたことから、社員への情報共有や理解促進が検討課題となっていた。

取組

◆社員向けLGBTQ+基礎セミナーの実施
◆LGBTQ+アライ企業としての施策の検討
◆ALT（語学アシスタントティーチャー）派遣事業におけるLGBTQ+施策の検討

成果

◆社員向けLGBTQ+セミナー実施
2回に渡り社員向けセミナーを実施し、約40名が受講し、LGBTQ+に関する基礎情報をインプットした。
◆アライ企業となるための施策の検討
対応すべき8領域においてそれぞれ施策を提案した。提案内容のうち、対応可能な施策について取り組みを進めることとした。
◆ALT派遣業務関連施策の提案
ALTの募集、採用、研修、派遣、フォローの各段階におけるLGBTQ+施策について提案、助言を行った。

2. コンサルティング内容

◆社員向けLGBTQ+セミナーの実施

コンサルティング1回目及び2回目において各60分のLGBTQ+基礎セミナーを実施し、約40名の社員に対しLGBTQ+の基礎情報、日常生活、業務における注意事項を伝えた。

◆LGBTQ+アライ企業となるための施策提案

トップコミットメント、服務規程、福利厚生施策、企業文化醸成、勉強会、アライコミュニティ組成、対外発信、イベント参加の8領域17項目についてTODOの提案を行った。ハートコーポレーションは2023年からソシオークグループの一員であることから、グループ全体の方針に関わる事項については、持ち株会社を含めた検討を要することが整理された。本事業では、同社単体で対応可能な施策について取り組みを進めることとした。

◆ALT派遣業務関連施策の検討

ALTの募集、採用、派遣、フォローの各段階におけるLGBTQ+に関する理解や業務上の配慮について、担当するスタッフを交えた打合せ、助言を行った。また、児童生徒への配慮についても意見交換し、各教育委員会やALT派遣先の学校関係者との調整についても助言を行った。

コンサルティングの成果と今後に向けて

D&I先進企業の取り組みに LGBTQ+に関する施策を加えてパワーアップを

ハートコーポレーションは、女性活躍、シニア活躍、多文化共生といった分野で先進的な取り組みを進めており、障害者雇用にも積極的に対応している企業である。今回、LGBTQ+に関する施策を検討したことも非常に有意義であり、実務に直結する取り組みであったと評価できる。

このような方針や施策を進めるには、社内の理解促進やグループ企業の方針との調整が求められる場合がある。その中で、ハートコーポレーションのALT派遣という実務領域において、LGBTQ+に関する施策に取り組んだことは有意義であり、同施策を起点としてグループ全体に波及効果が生まれることが期待される。

今回実施したLGBTQ+基礎セミナーは、そのための下地づくりとして有効であった。また、ALT募集・採用におけるアライ企業としてのPRや、研修・派遣・フォロー業務における当事者への配慮は、同社の大きな強みとなり得る。同時に、社内外に対する「多様性を尊重する企業」としてのブランドイメージ向上にも寄与する施策である。今後も各施策の具体化と継続的な推進が期待される。



今後の取り組み

◆グループ内単体企業として実施可能なLGBTQ+に関する施策の実現

- 研修の継続的实施
- アライコミュニティ組成

◆ALT関連事業におけるLGBTQ+に関する施策の実現

- 募集、採用時の表現方法の検討
- 児童生徒への配慮に関する対応マニュアル整備
- 派遣先学校との調整のマニュアル化
- ALTフォロー策としての相談窓口の設置

企業担当者のコメント

気付いたこと、学んだこと

「社会と共生する樹でありたい」をミッションに掲げるソシオークグループの一員として、弊社が取り組む、国際理解事業では、高度外国人材のご紹介や、オンライン・オフラインでの語学教育を通じて、地域社会や企業が抱えるグローバル化に伴う課題に向き合い、解決策を提供することで、持続可能な社会の実現に貢献しております。中でも公立の小中高等学校を中心に、ALTを派遣する事業において、子どもたちの豊かな心を育み、子どもたちの未来のためにこれからの教育に必要なものは何か、常に考え、実践していく中で、「D&I」「LGBTQ+」の理解は欠かせないものと考え、今回このような機会を設けて頂きました。基本から丁寧に教えていただいたことで、自社に導入すべきことをじっくりと考え、社員の理解はもちろん、外国語指導助手の採用研修にも活かすことができました。一層の浸透に向け、引き続き会社として取り組んでまいります。

課題に感じたこと、苦勞したこと

自治体を中心に外国語指導助手を派遣するというビジネスの中で、社内向けの啓発活動のみではなく、外国語指導助手の就業先である自治体及び各校との連携がもっとも重要であると改めて感じることができました。これまで以上に「D&I」「LGBTQ+」を意識した連携を図ってまいります。



本研修を通じて弊社で作成したALT向けの研修資料

担当コンサルタントからの総評



DEI総研 代表

伊藤義博氏

ハートコーポレイション様は、女性活躍や多文化共生、障害者雇用などに早期から取り組まれ、効果・実績を上げてこられたことに敬意を表します。今回のコンサルティングでは、LGBTQ+に特化した課題意識をお持ちであったことも先見性のある取り組みであると受け止めております。ALT人材派遣業務においては、派遣先である学校や自治体の教育委員会との調整を担うなど、関係者が多く、配慮を要する業務環境にあります。そのような状況の中で、LGBTQ+について基本的な知識のインプットから取り組みを始め、具体的な施策につなげていくというプロセスは、私としても多くの発見がありました。これらを具現化、推進し、同社の強みとして定着していくことで、社会や市場からの評価につながっていくものと期待しております。企業グループの一員としてのお立場も踏まえつつ、社内においては社員のウェルビーイングの向上、社外においてはSDGsにおける人権尊重企業としての信頼の獲得に大きく貢献されると考えます。引き続きD&I推進を是非ご継続くださいますようお願いいたします。あわせて、今回ご多忙の中、2回のセミナーに多くの社員の皆様にご参加を頂きましたこと、実施にご尽力くださったご担当部署の皆様へ感謝申し上げます。